

# 防災講演会概要



# これまでにないことが起きている

## 米原市民報

日本共産党米原市議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党米原市議員  
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

9月17日土曜日午前10時からルツチプラザで米原市防災講演会が開催されました。その講演概要についてお知らせします。講師は「米原市の原子力防災を考える市民委員会」アドバイザーの守屋敏也氏とコーディネーターの福田章典氏です。先週も台風14号が日本列島を通過していきましました。幸いにして米原市においては大きな被害は在りませのでした。台風が通過した九州地方やその他の地方で大きな被害がでています。防災について再度考えたいと思います。

### 自然災害・原発災害からの命の守り方

今回このテーマでお話しいただいたのはフリーライターで「丹波篠山原子力災害対策検討委員会委員」「京都被爆二世三世の会世話人」の守田敏也氏です。

### 原発事故が複合して起きている

「今年気候変動の影響で、大きな被害をもたらさず災害が頻発している。それに加えて福井県では40年を超える原発が動き出し、いつ起こるか分からない災害や事故から大切な子どもや家族を守るために私たちができることを一緒に考えよう。」と訴えられた。

風水害対策・地震対策を考え、ついで原子力防災について考える必要があるとのこと。そしてその大事なポイントは、1、あらゆる災害対策に大事な共通点がある。2、原発事故が自然災害と複合的に起こりうる。この2点をふまえて考える必要があると強調された。

### 日本の都市が危機に瀕している

日本の都市は自然災害に大変弱い。スイスの保険会社が世界660都市の危険度ランキングで東京横浜がワースト1位、大阪神戸が4位、名古屋が6位という結果となっている。また地

震も頻発しており、南海トラフ地震は西日本大震災もかなりの確立で迫っているとのこと。日本は4つプレートが押し合う世界有数の地震地帯であり、その「ひずみ集中帯」の上に福井原発もある。

### 地震への備えを固めよう

地震への備えとして、1、揺れに強い家にする。重いものをしたに、家具などを固定、ガラス対策、懐中電灯など常備。2、飲料水、食料の1週間分備蓄。3、避難先を決めておく。大地震があり、余震が続くときは可能ならその地域を離れることを指摘された。

### 基本は「つとむ逃がらぬ」

そして「国防強化を言うなら国家が総力をあげた防災対策が必要」であり「それぞれ町の町が災害に強い町づくりを進めること」が大ごと話された。

防災対策の見直しは急務として「これまでにはないことが起きている」と捉えることが必要。○個人の場合は「とつとと逃げる」が原則。○災害に強いコミュニティの強化が必要と話され、2018年に起こった米原市の竜巻災害への対応の検証が好事例と話された。

### 自分だけは死なない

そのあと今の原子力発電

所の問題点が指摘されました。また今岸田政権が目指す老朽原発再稼働問題や次世代型原発の問題点について指摘された。

そのあと災害時の防災心理学について説明をされ、1、正常化バイアスⅡ避難すべき事実を認めず事態は正常と考える。2、同調バイアスⅡとつさの時に周りの行動に自分を合わせる。3、パニック課題評価バイアスⅡパニックを恐れて危険を伝えなことが指摘され、このバイアスにもっとも効果的なことは避難訓練と話された。

### 家庭用火災防止

そのあと、大津市でふくた診療所を開業されている福田章典先生から安定ヨウ素剤の講演がありました。その中でチェリノブイリ原発の経験が話されました。質問の中で他の放射性物質については有効な薬等はなく、浴びないよう避難や防御することしかないことが話されました。



**雑感** 国税庁からというメールが来た。税金の滞納があり、すぐに納付しないと云々。メールでは、クリックを促している。ちよつと待てよ、今年の国税は還付を受けた。よくメールを見ると文字がおかしい。「税」の字体が変な字体になっている。文字化けもある。詐欺メール。しかし一瞬見たときは焦った。「マイナカード」が米原市で51%。若い世代が作らない。納得。